

第 5 回古賀市基本構想審議会における事前質問と回答【商工業・観光】

No.	資料	ページ	質問	回答	担当部署
1	資料 2	2 ページ	<p>■現状と課題</p> <p>「インターネットを通じた～」の部分ですがリアルな事業者においては活気がないように見えますが。</p> <p>ある意味で若い方が市場に参入しやすい環境にも感じます。</p> <p>既存の発展してきた町のリソースを活かしつつ、ネットや EC に新規参入の事業者を古賀市でバックアップするほうがより現実味があるように思いますが、その部分で具体的に対策、対応などは検討していますでしょうか。</p>	<p>本年度、市内中小企業を対象とした中小企業支援事業として新しい分野に進出する事業者を支援する取組を開始しております。これは、市内中小企業の新商品・新サービスの開発や新たな販売方法の導入等を支援するものです。ご意見のとおり、若い世代の方の市場参入や起業等の支援、特にインターネットを活用した消費の取り込みは重要であると認識しており、今後も事業者支援を実施していくにあたっては、市内事業者を含めた関係者からのご意見もいただきながら検討していきます。</p>	商工政策課
2	資料 2	2 ページ	<p>近年小売業の減少とここ数年のふるさと納税の高止まりを考えると、このタイミングで古賀市の独自の EC モールを立ち上げ、ふるさと納税で興味をもった方がリピートで買える仕組みも必要かと思えます。</p> <p>また、お菓子であったり町中の商品をどうやって全国に届け販路拡大するかも含めて、ネットでの販売を否定するのではなく、既存の商品をどうやったらリアルな店舗に限らず多くの人に見てもらえるかを若い方も交えて工夫していくことで古賀市の商品が総合的に購入できる仕組みが、町の活性化とふるさと納税を含めた税収の安定化につながるのではと思えます。</p> <p>そのあたりで何か検討されてますでしょうか。</p>	<p>ふるさと応援寄附額はここ数年、減少傾向にあります。この寄附額を増加させる取組は現在検討している段階であり、現時点では効果的な対応や対策を講じきれておりません。古賀市の事業者の魅力ある商品の販路拡大のため、インターネットを活用した手法も含め検討し、「ふるさと応援寄附額」の増加につなげていくことも重要であると認識しております。市内事業者を含めた関係者からのご意見もいただきながら検討していきます。</p>	商工政策課

No.	資料	ページ	質問	回答	担当部署
3	資料 2	2 ページ	<p>古賀市内に看護大があるのに学生のバイト先・たまり場がないと聞きます。新宮や福津市などではカフェで通学の折楽しんでいるそうです。またバイト先もなく、古賀駅周辺の開発等で若い人が楽しめる場所、バイトできる場所があれば若者の定着率もあがるのではないのでしょうか。若い主婦層や独身の女性も、古賀市にパンの工場はあるのにベーカリーはないと言っています。</p> <p>そういった顧客層を狙った小売店助成の施策も構想にいらしてほしいです。</p>	<p>若い人が楽しく行き交える場とはなっていない現状ではありますが、本年度より、市内で新たに創業する事業者に対し、創業にかかる経費の一部を支援する取組を開始しております。創業時の資金調達が困難な時期に、財政支援を行うことにより、市内での小売店等が創業しやすい環境を整えます。これにより、これまで市内になかった業種の事業者の進出が促進されるものと考えております。また、古賀駅西口の活性化事業も昨年度より取り組んでおります。ここでは、空き店舗をリノベーションし、事業者や市民団体などが地域交流・イベント、収益事業（賃貸事業（シェアオフィスなど））として取り組んでいただけることを期待しております。</p> <p>事業者支援や古賀駅周辺活性化に向けた取組にあたっては、市内事業者を含めた関係者からのご意見もいただきながら取り組んでいきます。</p>	商工政策課
4	資料 2	2 ページ	<p>■ 2 企業立地の促進と新たな雇用の創出</p> <p>薬王寺のサテライト・オフィスなどについては、「モノづくり」にとどまらないソフト分野の産業振興も含まれていると思われるが、前段の「モノづくり力」が前面に出ているので、ソフト分野の産業振興も重視しているのがわかる書き振りにしてはどうか。</p>	<p>ご意見のとおり、ソフト分野の産業振興も大切であり、その視点を踏まえ記載内容を検討したいと考えております。</p>	経営戦略課
5	資料 2	2 ページ	<p>■ 2 企業立地の促進と新たな雇用の創出</p> <p>当市は福岡都市圏に位置し、交通の利便性がよく、企業誘致を積極的に行い、働く場をつくることにより、若い人の流入を促進して、今後とも住宅地と企業誘致をバランスよく行うことで、高齢化率をおさえていくことができるのでは？</p>	<p>企業誘致は若い人の流入など新たな雇用の創出に加え、本市の経済が活性化し、市の財政確保も大いに期待できるものであり、今後も積極的に取り組んでいきます。</p>	商工政策課

No.	資料	ページ	質問	回答	担当部署
6	資料 2	2 ページ	<p>■ 3 魅力あふれる観光の活性化</p> <p>古賀市に住む市民一人ひとりが我がまちに愛着を持ち、良いところ探しができるような取組が必要だと思いました。</p>	<p>ご意見のとおり、古賀市に住む市民一人ひとりが我がまちに愛着を持ち、良いところ探しができるという視点は大切であるとの認識から、「地域の人々が自らの地域の魅力を感じ、その地に住むことに誇りと愛着を持ち」と施策とその方向性に記載しております。</p>	商工政策課
7	資料 2	2 ページ	<p>■ 3 魅力あふれる観光の活性化</p> <p>説明の例示に記載されていないが歴史的遺構としての薦野城址は、戦国時代に建てられたと思われる山城の跡があり、城址のあるところからは、古賀市街と海岸線が一望できるとても眺めのいいところだが、散歩道が整備されておらず、観光客を呼び込めるような状態ではないため、観光資源が活かされていないという印象を受ける。例えば城址跡がまたがる峰をつなぐ形で、Zipline を導入するなど自然景観を活かしたアトラクションの開発を通じて歴史的価値がある地域資源の魅力を高める方法もあるのではないか。</p> <p>個々の観光資源の認知度の向上だけでなく、パッケージとして観光資源をアピールすることも大切ではないか？（例えば、パッケージとした上で、観光大使の認定、SNS を通じたシリーズものでの PR など）</p>	<p>本市では、PR大使の活動により多くの方に観光資源を知っていただく取組を行っております。しかし観光客を呼び込む状態になっていないことはご質問のとおりと受け止めております。</p> <p>市内外から多くの方が訪れ、市内のさまざまな地域資源を楽しんでもらえるよう、薦野城址からの眺望など自然景観の活用も含め取り組んでまいります。</p> <p>パッケージとしての観光資源については、施策とその方向性に「観光客の回遊性の向上を図り」と記載しているとおり、市としてもその必要性を認識しております。</p>	商工政策課

No.	資料	ページ	質問	回答	担当部署
8	資料3	4ページ (7のデータ)	観光客数は、コスモス館利用が半数以上とのことですが、その他の観光地別の客数状況はどうなっていますか。	観光地別の観光客数は下記のデータのとおりとなっております。	商工政策課

《参考》

関連データ		H27	H28	H29	H30	R1
観光地点入込客数	コスモス館	407,660	396,987	374,710	358,312	340,900
	薬王寺入浴施設	124,481	126,033	135,709	138,845	126,054
	古賀ゴルフ・クラブ	31,663	30,857	31,718	31,152	29,314
	秋山園芸	10,000	11,250	11,250	11,250	11,250
	総数	573,804	565,127	553,387	539,559	507,518

(商工政策課 / 単位：人)

第5回古賀市基本構想審議会における事前質問と回答【農林業】

No.	資料	ページ	質問	回答	担当部署
9	資料2	3ページ	<p>■現状と課題</p> <p>全体的に農業のマイナスイメージが強く、農業には未来が少ないように思える。消費者と一体となって農業を振興していこうとする姿勢は理解できる。今の新しい流れとして農家の子どもの就農は減っているが、新しい感覚を持った後継者が観光農業や大規模経営に取り組んだり、農外からの新規参入者も増えてきたと感じる。収益が安定しているイチゴ栽培に取り組んだり、野菜を作って自分で販売する者もいる。半農半Xでの参入などが今後多様化するものと思われる。今後は、農家や集落の対応が問われることと思う。</p>	<p>ご意見を踏まえ、記載内容について検討させていただきます。</p>	農林振興課
10	資料2	3ページ	<p>■1 農地の保全と有効活用</p> <p>「農業集落による農地を保全する活動」とあるが、集落の現状は高齢化と若者不在が顕著で維持に困難を生じているのが現状である。脱炭素社会に向け、国の方針では「自然エネルギーの50%は農林水産業から」と聞くが、耕作放棄地や非農地となった竹林等に太陽光発電の設置の取組はどうか。</p> <p>今後、農家数の減少、荒廃農地の増加がみこまれる中、優良農地を保全するとともに、非農地からは自然エネルギーを作るといった考え方もあっていいのでは。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 耕作放棄地を少しでも解消できる 2 農家の収入減の確保 3 良好な景観の維持に考慮し、地域や場所を限定する 4 自然エネルギーを使用する企業のイメージアップにつながる 	<p>ご意見のとおり、自然エネルギーの活用については耕作放棄地・荒廃農地対策の重要な視点の一つであると認識しております。</p> <p>自然エネルギーの導入促進については、脱炭素社会の実現に向け、農地の有効活用に限らず、さまざまな手法による取組を促進していきます。</p>	農林振興課 環境課

No.	資料	ページ	質問	回答	担当部署
11	資料 2	3 ページ	<p>■ 2 持続可能な農業経営の推進</p> <p>農産物の地産地消の推進について、「コスモス館の機能強化や農産物の魅力の情報発信」が挙げられています。コスモス館へ直接行くことができない市民を対象に移動販売が実施されていました。現在、コロナ禍で中止されているようですが、食の確保は生活に直結する課題です。今後、感染予防を徹底したうえでの継続や宅配、交通手段の確保等、機能強化を検討していただきたい。実施にあたっては、他分野との協働が必要ではないでしょうか。</p>	<p>ご意見の移動販売は、経営判断から現在実施していないと伺っております。地域では民間による移動販売も広がっており、そういった動向も注視する必要があると考えております。</p> <p>コスモス館については、新たに JA や市内企業との連携を図るなど機能強化に取り組んでおり、グリーンパーク周辺開発と連携しつつ、いただいたご意見も踏まえて検討していく予定です。</p>	農林振興課
12	資料 2	3 ページ	<p>■ 2 持続可能な農業経営の推進</p> <p>文中のスマート農業のところ、ドローンの活用、ネット販売の支援なども含めた形で明示したほうが良いのではないかと。</p>	<p>ご意見を踏まえ、記載内容について検討させていただきます。</p>	農林振興課
13	資料 2	3 ページ	<p>■ 3 森林を守る林業の振興</p> <p>ビジネスが成り立つための市を超えた広域森林経営の発想も重要ではないかと。</p>	<p>施策とその方向性にも記載しているとおり、林業経営がビジネスとして成立するよう、「将来的な林業的利用を図る」ことが必要であり、長期的には、ご指摘のとおり、広域森林経営についても検討する必要があると認識しております。</p>	農林振興課

第5回古賀市基本構想審議会における事前質問と回答【都市基盤】

No.	資料	ページ	質問	回答	担当部署
14	資料4	2ページ	<p>■現状と課題</p> <p>都市計画区域外では特定用途制限地域の指定とあるが、「特定用途制限地域」とは何か。</p>	<p>古賀市の都市計画区域外の準都市計画区域（都市計画区域外）では、建築物の建築に対する規制が緩かったため、山林・農地・工場と住宅・倉庫等が混在している状況となっており、営農環境や住環境の悪化等の問題が発生し、深刻な地域課題となっていました。</p> <p>「特定用途制限地域」とは、この課題解決のため準都市計画区域を、主に工業系用途を規制する「田園居住地区」と工業系用途を許容する「筑紫野古賀線沿線地区」に区分し、建築物の用途や規模を制限した地域のことです。この制度に関する条例は、平成25年12月2日から施行しています。</p>	都市整備課

No.	資料	ページ	質問	回答	担当部署
15	資料 4	2 ページ	<p>■現状と課題</p> <p>現状では古賀市の利便性のよさから、住宅地域の中や近くに建築資材置場や大型トラックの駐車場、中古車や金属スクラップ置場、食品工場等が混在しており、住環境の悪化や子どもの安全等が心配である。</p>	<p>都市計画区域内においては、市街化区域と市街化調整区域に区分し、市街化区域内においては、用途地域を定め、居住環境の保全を図っています。元々あった工場の周りに住宅が立ち並んだ地域や利便性の高い幹線道路沿いなどでは、一部、住宅と工場や業務施設の混在を許容する用途地域もあります。</p> <p>住環境の悪化が心配される地域においては、住民・地権者からの提案により、建築物の用途や規模などについてきめ細かなルールを設定する都市計画提案制度の活用もできます。</p> <p>都市計画区域外の準都市計画区域においては、特定用途制限地域の指定により用途の混在はある程度防止されています。</p> <p>どの地域においても、青空駐車場や資材置場のように、建物を建てない土地利用については、現行の法令等を用いた規制方法がありません。今後も、一定規模以上の開発の際には、景観条例に基づく届出や協議、土地対策指導要綱に基づく地元住民への説明や説明結果の報告などを開発者に求めることにより、周辺住民との摩擦が生じないよう理解を求めています。</p>	都市整備課
16	資料 4	2 ページ	<p>■ I 地域特性に応じた土地利用の推進</p> <p>古賀駅東口の活性化、再開発には地元住民の理解、協力が重要と思われ、地元への周知が今後大切ではないか。</p>	<p>古賀駅東口の開発は地元住民の協力を得ながら進める必要があります。今後も丁寧な説明を心掛け、事業を進めていきます。</p>	古賀駅周辺開発推進室

No.	資料	ページ	質問	回答	担当部署
17	資料 4	2 ページ	<p>■施策とその方向性</p> <p>都市基盤で課題としてあげられている空き家対策や電線の地中化も明記すべきではないか。</p>	<p>都市基盤の分野において、総じて、空き家が増加することを課題としていますが、管理不行き届きの空き家が増加することによって、周辺に悪影響を及ぼすケースが多いことから、政策 4-4「環境の保全と継承」の中で記載するよう検討させていただきます。</p> <p>電線の地中化については、国、県においても防災の観点から緊急輸送道路などで整備が進んでおりますが、市町村道ではこれから検討するという状況です。積極的に施策展開していくには、財政面などのさまざまな課題もありますが、古賀駅東口などの新たな面的開発の際には検討していきます。</p>	都市整備課 環境課 建設課 古賀駅周辺 開発推進室
18	資料 4	2 ページ	<p>■施策とその方向性</p> <p>今後の人口減少や市の歳入減を踏まえ、コストのかからないインフラ整備を提案すべきではないか。 (例：草刈りの回数を減らせる樹種(低草丈草種の導入)による河川管理)</p>	<p>道路や公園整備における維持管理の容易な樹木の選定など、現在も維持管理コストのかからないインフラ整備を進めております。ご意見いただきました手法につきましても、植樹帯の管理などに活用していきたいと考えております。</p>	都市整備課 建設課 上下水道課
19	資料 4	2 ページ	<p>■施策とその方向性</p> <p>良好な都市環境の形成の中で、公園と道路について項立てされていますが、公共施設の方向性についての言及がないようですが、どのように考えていますか。</p>	<p>公共施設の方向性については、第 6 回審議会で審議予定の「基本構想の推進(コミュニティ活動・行政経営分野)」分野で記載することとしております。</p>	経営戦略課

第5回古賀市基本構想審議会における事前質問と回答【防犯・消費者保護・交通安全・防災・危機管理】

No.	資料	ページ	質問	回答	担当部署
20	資料4	4ページ	<p>■現状と課題</p> <p>「高齢者が増えたら犯罪が増える。」と受け取られるような記載となっているように感じます。検討をお願いします。</p>	<p>ご意見を踏まえ、記載内容について検討させていただきます。</p>	総務課

第5回古賀市基本構想審議会における事前質問と回答【環境】

No.	資料	ページ	質問	回答	担当部署
21	資料4	5ページ	<p>■2 資源を有効に活用する循環型社会の形成 環境省等ではリデュース (Reduce)、リユース (Reuse)、リサイクル (Recycle) を3Rとまとめ、推進されているかと思えます。(リフューズはリデュースに含め) 古賀市さんが今回リフューズを別立てされ4R とされている理由を教えてください。</p>	<p>これまで啓発の際は、以下のように『3R』を推進していました。</p> <p>①リデュース(減らす): シャンプーやリンスなど詰め替え商品を使う。必要以上に買い過ぎない。</p> <p>②リユース(再利用する): 繰り返し使う。人に譲る。リサイクルショップを活用する。</p> <p>③リサイクル(再生利用する): プラスチックやペットボトルなどリサイクルできるものは、分別して、改めて資源として活用する。</p> <p>あえて、これまでの『3R』の前に【リフューズ(断る:発生回避)】を置いて、『4R』を強調することで、「ごみになるものを家庭に持ち込まない」「使い捨て商品を買わない」「レジ袋や過剰な包装を断る」などが、大前提の取組として重要であることを伝えたいとの思いを込めて4Rにしました。</p>	環境課
22	資料4	5ページ	<p>■5 私たちにできる地球温暖化の防止 普及啓発だけでなく、「ゼロカーボン・ニュートラル宣言」を市で行わないのか。 市の施策に関するカーボン・ニュートラルに向けた取組みは明記しないのか。</p>	<p>「ゼロカーボンシティの宣言」を今年度中にできるように準備を進めています。</p> <p>カーボン・ニュートラルに向けた取組は重要であると認識しており、施策とその方向性にも「温室効果ガス実質排出ゼロ(脱炭素化)」と記載しております。</p>	環境課

第5回古賀市基本構想審議会における事前質問と回答【全体】

No.	資料	ページ	質問	回答	担当部署
23	-	-	行政と企業・大学との連携がうたわれていないと思います。古賀市では多くの大学と連携協定を締結して共同研究を行っています。地域保健・福祉分野でもうたわれていなかったのが、社会基盤環境、産業経済でも明確にうたわれていません。	行政と企業・大学との連携については、第6回審議会にて審議予定の「基本構想の推進（コミュニティ活動・行政経営分野）」分野で記載することとしております。	経営戦略課
24	資料4	4ページ 5ページ	防災や環境において、市民自ら「自分ごと」として考えていくことが大切であり、他分野の市民活動団体が連携・協力した活動を支援することについては、今後も推進していただきたいと思っております。また、一方で、消防団や自主防災組織（自治会）をはじめ多くの市民活動団体では、高齢化や担い手不足が共通の課題となっております。市民活動団体が継続的に活動していくことができるような支援はないでしょうか。	市民活動団体が継続的に活動していくことができるための支援については、第6回審議会にて審議予定の「基本構想の推進（コミュニティ活動・行政経営分野）」分野で記載することとしております。	経営戦略課